

平成 27 年度 第 1 回 岡山県道路交通渋滞対策部会 議事録			
日時:平成 27 年 10 月 2 日(金) 15:00~17:00			
場所:岡山国道事務所 3 階会議室			
当 方	別添配布資料 出席者名簿のとおり	先 方	
配布資料	添付のとおり		
要 旨	<p>○大規模なハード整備によらない渋滞対策を検討していく。</p> <p>○次回の渋滞部会までに、小規模な渋滞対策を各道路管理者にて検討する。</p> <p>○次回の渋滞部会は半年以内に行うことを予定。</p>		
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・主要渋滞箇所にかかるこれまでの検討経緯について説明。 ・主要渋滞箇所における対策の実施・検討状況について説明。 ・最新データによる主要渋滞箇所のフォローアップ結果を報告。 ・岡山県内における渋滞対策について説明。 		
会長	<p>渋滞の抜本的な改善にはハード整備が必要だが、長い時間がかかるため、渋滞対策として、すぐにできることをやっていきたい。バス停や沿道出入口の移設等である。ただ、実施には細かい分析が必要であり、また地元や警察等、関係者の協力が必要になる。こうした検討の進め方、あるいは対策方法について、意見をいただきたい。</p> <p>例えば、倉敷の美観地区へ行く際に、倉敷 IC で降車するために渋滞に巻き込まれる状況がある。美観地区に行く場合は早島 IC で降りるとよいが、この誘導ができていない。県、地元、市、県警など、皆さんのアイデアをいただきたい。なお、この部会で意思決定をする必要はない。アイデアを出して、関係者で共有することが重要だと考えている。</p>		
委員	<p>美観地区であれば、カーナビの案内を変えてもらうのが一番よい。遠回りになるので、苦情がでる可能性はあるが、美観地区だけであれば、そういう方法もあり得る。</p>		
会長	<p>短期対策は、要因分析に手間と時間がかかる。全箇所での対策は難しいので、良い事例を作っていきたい。上手いかわなくても教訓にできる。この半年、あるいは 1 年かけて実施して、良いものがあれば、拡げていく。</p> <p>渋滞発生原因および渋滞長は朝夕で異なる。現在のカルテは平均値であり、これらが反映されていないという課題がある。交通量は 12 時間交通量であり、渋滞要因が分からない。渋滞分析の例として、信号 1 サイクルあたりの捌け台数がばらつく場合、何らかの原因で道路のキャパが発揮できない状態があるため、それを明らかにする必要がある。こうした細かな要因分析ができるように、今後カルテの整理方法を部会で諮っていく。次回の部会では個別箇所の対策と、交通誘導のような大きなネットワークの話、両方の議論を進めたい。</p>		
委員	<p>岡山市では、都市計画道路が既成している環状道路内について、長期対策としての視点も含め、バスへの転換促進等の施策を検討しているところ。主要渋滞箇所については、全箇所で交通量調査を実施し、対策可否を考えているが、街なかの個別対策は難しく、別のアプローチを検討している。</p>		
会長	<p>都市計画道路が完成していてもできることはある。ハードによらない部分の対応も考えてもらいたい。</p> <p>次回の部会に向けて、渋滞箇所の抽出と、対策の検討は事務局で協議していく。渋滞原因を抽出し、具体的なアイデアを検討してもらいたい。次回の部会は半年以内に開催したいと思う。</p>		
委員	<p>これまで実施した渋滞対策は大きな効果を出している。これまでの効果部分のアピールもお願いしたい。また今回議論のあったような、大規模なハード整備によらない渋滞対策は積極的に進めていきたいと思う。</p>		
以上			